

松高小便り



松高小HP

八代市立松高小学校
学校便り 第7号
令和7年10月28日発行
文責 村山

長崎修学旅行

10月23日(木)24日(金)、6年生が長崎修学旅行へ行ってきました。

気候も秋めいてきて、修学旅行に行く時期として絶好の時期となりました。

134人の6年生が、平和学習や長崎の歴史に触れることで、多くの学びができました。語り部(原爆被害2世)の方の講話を、真剣にしっかりと聞いて、戦争の愚かさ、原爆の恐ろしさなど、感じる事ができました。

また、2日間、集団活動となりますので、「時間を守る」「他の人に迷惑をかけないで行動する」など、多くのことを学ぶ機会にもなりました。長崎市内のフィールドワークやハウステンボスでの班行動など、グループで協力して楽しむことができましたようです。

今回、学んだことや体験したことを生かして、残り5ヶ月となった小学校生活をみんなで充実させてほしいと思います。

6年生全員が、けがもなく元気に修学旅行に参加することができてよかったと思いました。保護者の皆様、準備等ありがとうございました。



子供たちの学びの充実に向けて

松高小では、「子供たちの新たな学び」を実現するための研修を行っています。

AIが発展しグローバルな時代が進んでいます。これから生きていく子供たちに、答えのない問題にも向き合えるよう、自ら課題を見つけ、調べ、考え抜く力を付けていきたいと考えています。そのために、「探究型学習」を進めています。

先生たちも課題をもち、意見交換をしながら学び合う「探究型研修」を行っています。今月15日、2年4組の道徳の授業を全職員で参観し、授業から学んだことを互いに話し合いました。その後、今後の授業に生かすポイント等をそれぞれの先生が考えました。

このような研修で学んだことを活かし、教員一人一人が、子供たちの「やってみたい」「知りたい」という気持ちを大切に、将来に向けた力を伸ばす学習を進めていきたいと考えています。

職員は、子供たちの好奇心や意欲をどう引き出し、学びをどうサポートしていくかを研修等で学びながら進めてまいります。保護者の皆様、子供たちの学びにご理解とご協力をよろしくお願いします。

